

社会学研究室文献リスト〔2017 年度〕

- ・ ICP ロバート・キャパ・アーカイブ編, 2017, 『ロバート・キャパ写真集』岩波文庫.
- ・ アイヌ文化振興・研究推進機構, 2017, 「アイヌの人たちとともに その文化と歴史」.
- ・ 青木周蔵 (坂根義久校注), 1970, 『青木周蔵自伝』東洋文庫.
- ・ 青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室, 2017, 「縄文土偶図鑑 ド・グゥ!!」.
- ・ 浅木洋祐, 2017, 「容器包装リサイクル法における環境配慮設計 PET ボトルを中心に」『北海道教育大学紀要 (人文科学・社会科学編)』68(1):63-76.
- ・ 旭川市, 2017, 「旭川市新庁舎建設基本計画 (案)」.
- ・ 旭川市教育委員会, 2017a, 『平成 29 年度 社会教育・生涯学習に関するアンケート調査報告書』.
- ・ 旭川市教育委員会, 2017b, 「平成 29 年度 (2017 年度) 行育行政方針 (要旨)」.
- ・ 旭川市教育委員会, 2017c, 『平成 29 年度 (2017 年度) 教育委員会の事務に関する点検・評価報告書』.
- ・ 旭川市教育委員会社会教育部, 2017a, 『旭川市社会教育基本計画 平成 28 年度 点検・評価』.
- ・ 旭川市教育委員会社会教育部, 2017b, 『旭川市社会教育基本計画 平成 28 年度 事務事業及び施策評価シート』.
- ・ 旭川市水道局, 2017, 「あさひかわのみず 人に、くらしに、緑に、まちに。」.
- ・ 新睦人, 2004, 『社会学の方法』有斐閣.
- ・ 飯田敬輔／北岡伸一／国分良成／白石隆／田中明彦, 2017, 「＜座談会＞東アジアの国際関係 混迷する国内政治、翻弄される国際政治」『レヴアイアサン』60:9-43.
- ・ 生田武志, 2012, 『おっちゃん、なんで外で寝なあかんの？ 子ども夜回りと「ホームレス」の人たち』あかね書房.
- ・ 池尾靖志／伊波洋一／井原勝介, 2010, 『地域から平和をきづく オキナワ・イワクニからみた日本』晃洋書房.
- ・ 池田裕, 2017, 「葛藤する保守 市場制度への信頼と政府支出への支持」『フォーラム現代社会学』16:43-57.
- ・ 石井英俊, 2015, 『シリーズ・ニッポン再発見 1 マンホール 意匠があらわす日本の文化と歴史』ミネルヴァ書房.
- ・ 石川孝織, 2017, 「道東の鉱物資源と産業遺産を巡る夢の鉄路へようこそ 第 1 回 釧路炭田と鉄道」『開発こうほう』652:15-17.
- ・ 伊藤理史, 2017, 「日本人の政治的疎外意識 政治的有効性感覚のコーホート分析」『フォーラム現代社会学』16:15-28.
- ・ 井原勝介, 2009, 『岩国に吹いた風 米軍再編・市民と共にたたかう』高文研.

- ・茨城大学人文学部市民共創教育研究センター, 2017, 『第3回 茨城県内への広域避難者アンケート (2016) 結果報告書』.
- ・今田高俊, 2017a, 「解説 核のごみ処分をめぐって 『高レベル放射性廃棄物の処分をテーマとした Web 上の討論型世論調査』 のシンポジウムから(1)」『日本原子力学会誌』 59(5):25-29.
- ・今田高俊, 2017b, 「回収率と代表性」『社会と調査』 19:3.
- ・岩崎量示, 2016, 『80年目のアーチ橋 still there』.
- ・印旛沼環境基金編, 2016, 『いんば沼のはなし』.
- ・宇井眞紀子, 2011, 『アイヌ、風の肖像』新泉社.
- ・植木哲也, 2008=2017, 『新版 学問の暴力 アイヌ墓地はなぜあばかれたか』春風社.
- ・内澤句子, 2007=2011, 『世界屠畜紀行』角川文庫.
- ・内田道雄, 2016, 『燃える森に生きる インドネシア・スマトラ島 紙と油に消える熱帯林』新泉社.
- ・AIRDO, 2017, 「北海道の翼 | 株式会社 AIRDO 統合レポート 2017」.
- ・恵庭市教育委員会, 2016, 「第4期恵庭市生涯学習基本計画」.
- ・恵庭市教育委員会社会教育委員, 2016, 『つぎへの一步 自主研修会の感想・記録集 二年間の足跡&十人十色なメッセージ vol.5【平成26~27年度】』.
- ・「NHK スペシャル」取材班, 2012a, 『沖縄返還の代償 核と基地 密使・若泉敬の苦悩』光文社.
- ・「NHK スペシャル」取材班, 2012b, 『“核”を求めた日本 被爆国の知られざる真実』光文社.
- ・NPO 西山卯三記念すまい・まちづくり文庫編／編集代表松本滋, 2015, 『軍艦島の生活〈1952／1970〉 住宅学者西山卯三の端島住宅調査レポート』創元社.
- ・太田昌克, 2015, 『日本はなぜ核を手放せないのか 「非核」の死角』岩波書店.
- ・大月書店編集部編, 1965, 『猿が人間になるについての労働の役割 他』国民文庫.
- ・小澤卓也, 2010, 『コーヒーのグローバル・ヒストリー 赤いダイヤか、黒い悪魔か』ミネルヴァ書房.
- ・小野哲也, 2017, 「山野河海のアイヌ史 第5回 湿原に寄り添い生きた人々」『開発こうほう』 647:16-17.
- ・開発こうほう編集部編, 2016, 「テーマ：地域の建設業を考える」『開発こうほう』 638:1-24.
- ・開発こうほう編集部編, 2017, 「テーマ：地方創生を考える」『開発こうほう』 644:1-28.
- ・開沼博, 2011, 『「フクシマ」論 原子力ムラはなぜ生まれたのか』青土社.
- ・垣内国光／岩田美香／熊谷伊紗／白濱二郎／塚本道夫／山川里美, 2017, 「座談会 現代の貧困と子どもの育ち 子どもの貧困最前線」『季刊 自治と分権』 67:26-59.
- ・梶村秀樹, 2014, 『排外主義克服のための朝鮮史』平凡社.
- ・香月洋一郎編, 2013, 『景観写真論ノート 宮本常一のアルバムから』筑摩書房.
- ・金子直樹, 2005, 「『廃墟』の歴史地理 摩耶観光ホテルを事例に」『人文論集』 55(1):63-88.

- ・鹿又伸夫, 2017, 「貧富の社会的再生産と地位達成過程」『社会学評論』68(2):283-299.
- ・蒲島郁夫／竹中佳彦, 1996, 『現代日本人のイデオロギー』東京大学出版会.
- ・蒲島郁夫／竹中佳彦, 2012, 『現代政治学草書 8 イデオロギー』東京大学出版会.
- ・上家孝之／上家勝利, 2003, 『ふるさと北海道上士別村』つげ書房新社.
- ・上川管内社会教育委員連絡協議会, 2017, 『平成 28 年度研究紀要』.
- ・川越市立博物館, 2011, 『川越城本丸御殿竣工記念 第 35 回企画展 川越城 描かれた城絵図の世界』.
- ・川越市立博物館, 2012, 「川越城が知りたい! 川越城本丸御殿保存修理工事の概要」.
- ・川越市立博物館, 2014, 『第 40 回企画展 絵図で見る川越 空から眺める江戸時代の川越』.
- ・河田昌東／藤井絢子編, 2011, 『チェルノブイリの菜の花畑から 放射能汚染化の地域復興』創森社.
- ・環境省, 2010, 「日本の国立公園 3 阿寒国立公園」.
- ・環境省, 2013, 『日本のラムサール条約湿地 豊かな自然・多様な湿地の保全と賢明な利用』.
- ・環境省, 2016, 「日本の国立公園 5 大雪山国立公園」.
- ・北広島市教育委員会教育部エコミュージアムセンター編, 2014a, 「北広島遺産ハンドブック (自然遺産編)」.
- ・北広島市教育委員会教育部エコミュージアムセンター編, 2014b, 「北広島遺産ハンドブック (歴史遺産編)」.
- ・吉川徹, 1998, 『階層・教育と社会意識の形成 社会意識論の磁界』ミネルヴァ書房.
- ・工藤雄一郎／国立歴史民俗博物館編, 2014, 『ここまでわかった! 縄文人の植物利用』新泉社.
- ・久保貴裕, 2017, 「鋸南町 廃校になった小学校を『道の駅』に 都市と農山漁村の交流拠点として、地域の活性化を目指す」『季刊 自治と分権』68:96-103.
- ・栗林賢, 2016, 「産地集荷市場の存続と農家の出荷選択 弘前中央青果・津軽りんご市場を事例に」『新地理』64(3):30-40.
- ・栗林賢, 2017, 「JA による卸売市場の集約化とその背景 JA つがる弘前を事例に」『地理学評論』90(2):137-149.
- ・国土交通省大臣官房広報課編, 2017, 「国土交通」No.143.
- ・小杉礼子／宮本みち子編, 2015, 『下層化する女性たち 労働と家庭からの排除と貧困』勁草書房.
- ・小西砂千夫, 2017, 「自著を語る 『日本地方財政史 制度の背景と文脈をとらえる』 奥野誠亮と柴田護、石原信夫、そしていま」『書斎の窓』653:59-63.
- ・小松善雄, 2017, 「地方創生＝ローカルアベノミクスと基礎自治体の政策形成過程」『自治と分権』66:56-70.
- ・近藤孝弘, 2005, 『ドイツの政治教育 成熟した民主社会への課題』岩波書店.
- ・斉藤マサヨシ, 2017, 『サハリンに残された日本 樺太の面影、そして今』北海道大学出版会.
- ・佐藤国男, 2015, 『妄想か、大発見か… 亀ヶ岡土器には甲骨文字が刻まれていた』新函館ラ

イブラリー.

- ・佐藤俊樹, 2017, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第5回 歴史の一回性と因果—リッカートからフォン・クリースへ(1)」『書齋の窓』650:57-64.
- ・佐藤俊樹, 2017, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第6回 (最終回) 適合的因果と反実仮想—リッカートからフォン・クリースへ(2)」『書齋の窓』651:51-59.
- ・産炭地研究会 (JAFCOF) 編, 2014, 『炭鉱の記憶ブックレット3 そらち 炭^{キマ}の女性たちが語る集い 炭鉱主婦会・炭婦協の歴史に学ぶ』炭鉱の記憶推進事業団.
- ・JA あさひかわ地域農業再生協議会, 2015, 「食べたい! 知りたい! 江丹別 江丹別そばガイドブック」.
- ・芝健介, 2015, 『ニュルンベルク裁判』岩波書店.
- ・社会調査協会編, 2017, 「特集: 調査と表現 伝えるための戦略」『社会と調査』19:4-55.
- ・写真文化首都「写真の町」東川町編, 2016, 『東川町ものがたり 町の「人」があなたを魅了する』新評論.
- ・『週刊金曜日』編, 2008a, 『岩国は負けない 米軍再編と地方自治』金曜日.
- ・『週刊金曜日』編, 2008b, 『基地を持つ自治体の闘い それでも岩国は負けない』金曜日.
- ・白鳥浩編, 2010, 『政権交代選挙の政治学 地方から変わる日本政治』ミネルヴァ書房.
- ・新宿歴史博物館編, 2008, 『内藤清成と高遠内藤家展』.
- ・新宿歴史博物館編, 2016, 『信州高遠藩 歴史と文化』.
- ・杉浦一機, 2017, 「北海道鉄道網の維持は航空との連携で」『開発こうほう』647:12-15.
- ・鈴木綾加, 2017, 「『行動する保守』運動における参加者の相互行為とジェンダー 非—示威行動の場での参与観察調査から」『フォーラム現代社会学』16:29-42.
- ・角知行, 2012, 『識字神話をよみとく 「識字率 99%」の国・日本というイデオロギー』明石書店.
- ・生協総合研究所, 2017, 「2017 年度版 年次報告書 人口減少・超高齢社会をみすえて」.
- ・生協総合研究所編, 2017a, 「特集: 高等教育機会の格差と課題を考える」『生活協同組合研究』493:4-58.
- ・生協総合研究所編, 2017b, 「特集: “シングル化” する高齢社会とどう向き合うか」『生活協同組合研究』494:4-58.
- ・生協総合研究所編, 2017c, 「特集: 生協は若年層にとって『必要』な存在となれるか」『生活協同組合研究』497:4-45.
- ・生協総合研究所編, 2017d, 「特集: 食肉と消費をめぐる動き」『生活協同組合研究』499:4-53.
- ・瀬川拓郎, 2016a, 『アイヌと縄文 もうひとつの日本の歴史』ちくま新書.
- ・生協総合研究所編, 2017e, 「特集: 女性と子どもの貧困 『子どもの貧困』の背景にある経済格差」『生活協同組合研究』501:4-54.
- ・瀬川拓郎, 2016b, 「山野河海のアイヌ史 第1回 世界観のなかの山野河海」『開発こうほう』639:16-17.

- ・関礼子ゼミナール編, 2016, 『阿賀の記憶、阿賀からの語り 語り部たちの新潟水俣病』新泉社.
- ・全国社会教育委員連合編, 2017, 『社教情報』vol.75-77.
- ・総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会原子力小委員会地層処分技術 WG, 2017, 『地層処分に関する地域の科学的な特性の提示に係る要件・基準の検討結果（地層処分技術WG とりまとめ）』.
- ・孫・片田晶, 2017, 「1960 年代の日教組教研の在日朝鮮人教育論 『在日朝鮮人教育』の変容」『社会学評論』67(3):285-301.
- ・鷹栖町, 2016, 「鷹栖町農業ビジョン 平成 28 年度～平成 29 年度（第 1 期）」.
- ・高畠孝宗, 2017, 「山野河海のアイヌ史 第 4 回 オホーツク海に生きた人々」『開発こうほう』645:16-17.
- ・田上孝一, 2011, 「マルクスの物象化論と廣松の物象化論」『経済理論』48(2):40-49.
- ・田島奈都子編, 2016, 『プロパガンダ・ポスターからみる日本の戦争 135 枚が映し出す真実』勉誠出版.
- ・伊達市噴火湾文化研究所, 2015, 『噴火湾文化』vol.9.
- ・田中研之輔, 2015, 『井家の経営 24 時間営業の組織エスノグラフィー』法律文化社.
- ・地域社会学会編, 2017, 「特集：国土のグランドデザインと地域社会：『生活圏』の危機と再発見」『地域社会学会年報』29:5-57.
- ・地域と連携する大学教育研究会編, 2010, 『地域に学ぶ、学生が変わる 大学と市民でつくる持続可能な社会』東京学芸大学出版会.
- ・千葉昇, 2007, 『北海道大沼公園昔語り』.
- ・中央教育審議会, 2015, 『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）』.
- ・津田敏秀, 2004, 『医学者は公害事件で何をしてきたのか』岩波書店.
- ・濤沸湖ガイドブック作成会議, 2012, 「濤沸湖ガイドブック」.
- ・当麻町, 2016, 「とうま山ストーリーブック vol.2」.
- ・当麻町, 2017, 「とうま山ストーリーブック vol.3」.
- ・戸高一成編, 2009, 『[[証言録] 海軍反省会] PHP 研究所.
- ・苫小牧港開発株式会社, 2014, 「苫小牧ポートミュージアム」.
- ・豊澤健太／薛慧慧／王正／遠藤はる奈／丸谷一耕／中村修, 2010, 「福岡県筑後市における『ごみ分別授業』の実践」『地域環境研究』2:57-65.
- ・奈井江町, 2017, 「NAIE TOWN 人と人をつなぐ優しいまち、奈井江町」.
- ・内藤朝雄, 2004, 「存在措定をめぐる構築主義の不可能性と〈界〉の協働連関モデル」『現代の社会病理』19:55-76.
- ・内藤朝雄, 2016, 「学校の秩序分析から社会の原理論へ 暴力の進化的理論・いじめというモデル現象・理論的ブレークスルー」, 佐藤卓己編, 『岩波講座現代 8 学習する社会の明日』岩波

書店, pp.229-256.

- ・NACS-J ふれあい調査研究会, 2005, 「地域の豊かさ発見 ふれあい調査のススメ【お試し版】」日本自然保護協会.
- ・中村彰彦／三戸岡道夫監修, ****, 「名君保科正之公 伊那高遠の地が育てた歴史上の巨人」伊那市観光協会.
- ・中村修／王正／遠藤はる奈／岸田友里恵／松田香穂里, 2011, 「筑後市の『ごみ分別授業』の実証と考察 環境行政の啓発事業としての視点から」『地域環境研究』3:55-61.
- ・中村修／丸谷一耕／深見聡／遠藤はる奈／本田藍, 2013, 「地理教育からみた『ごみ分別授業』に関する研究 福岡県筑後市の取り組みを事例に」『地理教育研究』12:17-25.
- ・中村清, 2007, 「教育における思想信条の自由」『宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要』30:93-104.
- ・西城戸誠／大國充彦, 2017, 「生命と暮らしを守る 住友赤平・空知・夕張炭鉱の炭鉱主婦会の聞き書きから」『人間環境論集』18(1):29-68.
- ・西田奈保子／高木竜輔／松本暢子, 2017, 「復興公営住宅入居者の生活実態に関する調査 調査報告書【概要版】」.
- ・西本伸顕, 2013, 『フラノマルシェの奇跡 小さな街に 200 万人を呼び込んだ商店街オヤジたち』学芸出版社.
- ・仁平典宏, 2017, 「書評 『ボランティアを生みだすもの 利他の計量社会学』」『書斎の窓』653:69-73.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA), 2008, 「ふしぎ大好き科学倶楽部 放射線の謎を解け!」.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA), 2011, 「季刊 未来へげんき」NO.21.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA), ****, 「ぼくらはエネルギー探検隊」.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA), ****, 「研究施設等廃棄物の埋設処分への取り組み」.
- ・日本社会学会編, 2017a, 「特集：沖縄と社会学」『社会学評論』67(4):365-495.
- ・日本社会学会編, 2017b, 「特集：社会学と構築主義の現在」『社会学評論』68(1):17-149.
- ・日本社会学会社会学教育委員会, 2016, 『社会学教育ってなんだ 「社会学分野の参照基準」から考える』.
- ・日本土地家屋調査士会連合会編, 2013, 「調べてみよう! 地面のボタンのなぞ」日本加除出版.
- ・松本悟, 2014, 『調査と権力 世界銀行と「調査の失敗」』東京大学出版会.
- ・ニューズウィーク日本版編集部, 2017, 「特集：北朝鮮 暗殺の地政学」『ニューズウィーク日本版』32(8):21-32.
- ・農林水産省, 2016, 「農業・農村の多面的機能」.
- ・野上ふさ子, 2012, 『アイヌ語の贈り物 アイヌの自然観にふれる』新泉社.
- ・萩原三雄／荒川宏枝編, 2010, 『武田神社 武田氏館跡』武田神社.
- ・函館市立博物館友の会事務局編, 2016, 『ガイドブック 函館の文化財』.
- ・長谷川正次, 2005, 『高遠の歴史物語』しんこう社.

- ・鉢形城歴史館編，2007，「鉢形城指南」.
- ・鉢形城歴史館編，2014，『関東三国志 越相同盟と北条邦氏』.
- ・浜岡政好／中島素美／小川治彦／小川栄二，2017，「座談会 高齢者の暮らしと貧困」『季刊自治と分権』68:26-63.
- ・濱田裕美子，2011，「市町村合併流域下水道移管問題」『都市問題』102(4):97-119.
- ・濱西栄司，2017，「(書評論文) 社会理論と社会運動 理論刷新の道とフーコー理論(言説・統治性)」『現代社会学理論研究』11:144-149.
- ・浜林正夫，1981，『イギリス名誉革命史(上)』未来社.
- ・浜林正夫，1983，『イギリス名誉革命史(下)』未来社.
- ・林えいだい，1968=2017，『《写真記録》これが公害だ 北九州市「青空がほしい」運動の軌跡』新評論.
- ・美瑛町遺族会，2015，『語り継ぐ戦争と美瑛 美瑛町遺族会 70 年誌』.
- ・樋口健二，1981=2011，『闇に消される原発被爆者 [増補新版]』八月書房.
- ・平取町農業協議会，2016a，「びらとりあぐりビジョン 2016 (平取町農業振興計画)」.
- ・平取町農業協議会，2016b，「びらとりあぐりビジョン 2016 (平取町農業振興計画) 地域農業の将来(人と農地の問題)に関するアンケート調査集計結果」.
- ・平山優，2009，『新編 武田二十四将正伝』武田神社.
- ・広田照幸，2015，『教育は何をなすべきか 能力・職業・市民』岩波書店.
- ・廣本由香，2017，「福島原発事故をめぐる自主避難の〈ゆらぎ〉」『社会学評論』67(3):267-284.
- ・ふうあいねっと，2016，「震災 5 年いま伝えたいわたしの手記 茨城県に避難した者たちの想い」.
- ・ふかがわ地域資源活用会議，2016，「北の黒米」.
- ・福島のりよ，2017，『風船爆弾』富山房インターナショナル.
- ・藤川聡，2017，『技術科の製作学習と失敗体験 原因帰属と教訓帰納からの示唆』大阪大学人間科学研究科博士学位論文.
- ・藤森晶子，2016，『丸刈りにされた女たち 「ドイツ人の恋人」の戦後を辿る旅』岩波書店.
- ・古市憲寿，2011=2015，『絶望の国の幸福な若者たち』講談社+α文庫.
- ・保坂稔，2003，『現代社会と権威主義 フランクフルト学派権威論の再構成』有信堂.
- ・北海道新聞社，2012，「読んで、使って、楽しんで 新聞丸ごと活用法」.
- ・北海道空知振興局地域政策部地域政策課そらちワイン振興室，2014，「そらちワインガイド そらち地ワインを知る楽しむ手引き」.
- ・北海道大学総合博物館，****，「重要文化財『札幌農学校第 2 農場』」.
- ・北海道道路管理技術センター，2016，『北の交差点 vol.34 特集/地方創生と「道の駅」』.
- ・穂積陳重，1916=1980，『法窓夜話』岩波文庫.
- ・堀江邦夫，1979=2011，『原発ジプシー 被爆下請け労働者の記録【増補改訂版】』現代書館.
- ・幌内鉄道橋梁研究会編，2011，「炭鉱の記憶ブックレット 2 日本最古のアメリカ製鉄道橋」

炭鉱の記憶推進事業団.

- ・ 本多幸一／塚田惇／石本省三, 1993, 『ななえの歴史と伝説』七飯町教育委員会.
- ・ 孫崎享, 2013, 『戦後史の正体 1945-2012』創元社.
- ・ 松井理恵, 2017, 「景観保全を通じた都市の継承 韓国・大邱の近代建築物リノベーションを事例として」『現代社会学研究』30:27-43.
- ・ 美濃市, 2016, 「MINO travel guidebook ようこそ和紙とうだつのまち美濃市へ」.
- ・ 宮内泰介, 2017, 『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』岩波新書.
- ・ 三輪建二, 2011, 「大学におけるコミュニティ学習支援者の力量形成 お茶の水女子大学の社会教育主事講習を中心に」『月間社会教育』674:4-12.
- ・ 三輪定宣, 2017, 「貧困の打開策と教育 社会教育・地方自治の観点を踏まえて」『季刊自治と分権』69:43-53.
- ・ 森町教育委員会, 2013, 「森町の史跡」.
- ・ 森町教育委員会, 2016a, 「森町の縄文文化」.
- ・ 森町教育委員会, 2016b, 「国指定史跡 鷲ノ木遺跡」.
- ・ 山梨県教育庁学術文化財課編, 2016, 「山梨近代人物館展示ガイドブック」.
- ・ 山根猛, 2017, 『琵琶湖博物館ブックレット 4 琵琶湖の漁業いま・むかし』サンライズ出版.
- ・ 炭^{やま}鉱の記憶推進事業団編, 『炭鉱の記憶ブックレット 1 石炭博物館ガイドブック【第2版】』炭^{やま}鉱の記憶推進事業団.
- ・ 山本作兵衛, 2011, 『ヤマの記憶 山本作兵衛〔聞き書き〕』西日本新聞社.
- ・ 山本竜也, 2016, 『寿都・島牧・黒松内 南後志に生きる 五十三人が語る個人史と町・北海道・日本の歴史』書肆山住.
- ・ 山本眞樹夫, 2016, 「北海道価値創造と道内国立大学の役割 地域発イノベーションの拠点として」『開発こうほう』640:12-14.
- ・ ユネスコ無形文化遺産登録手漉和紙連携推進実行委員会, ****, 「ユネスコ無形文化遺産 和紙: 日本の手漉和紙技術 細川紙」.
- ・ 吉野裕太, 2015, 「体験から体感へ 『学校・家庭・地域』連携へ向けた通学合宿による地域からのアプローチ」『社教情報』73:24-27.
- ・ リット, T. (小笠原道雄／野平慎二訳), 2016, 『歴史と責任 科学者は歴史にどう責任をとるか』東信堂.
- ・ 「流氷ミニ百科事典」編集委員会編, 2017, 「流氷ミニ百科事典」北海道立オホーツク流氷科学センター.
- ・ 歴史文化研究所編, 2017, 「月刊小樽學 通巻第101号」.
- ・ 鷲頭幹夫, 2008, 『わたしの戦争体験 もんべつを生きて特別編』オホーツク新聞社.
- ・ 渡辺治, 2017, 「安倍政権を倒し平和と福祉の地域と日本をつくる展望 共同の力を『地域』から国政へ」『自治と分権』66:26-44.

- Dulu-Bellat, M., 2006, *L'Inflation Scolaire: Les Désillusions de la Méritocratie*, Paris: Seuil.
(=林昌宏訳, 2007, 『フランスの学歴インフレと格差社会 能力主義という幻想』明石書店).
- Economy, E., 2004, *The River Runs Black: The Environmental Challenge to China's Future*, Ithaca: Cornell University Press. (=片岡夏美訳, 2005, 『中国環境レポート』築地書館).
- Schaff, A. 1977, *Entfremdung als Soziales Phänomen*, Wien: Europa Verlag. (=花崎皋平訳, 1984, 『社会現象としての疎外』岩波書店).
- Shiva, V., 2000, *Stolen Harvest: The Hijacking of the Global Food Supply*, Cambridge: South End Press. (=浦本昌紀監訳／竹内誠也・金井塚務訳, 2006, 『食糧テロリズム 多国籍企業はいかにして第三世界を飢えさせているか』明石書店).
- Slaughter, S. & Rhoades, G., 2004, *Academic Capitalism and the New Economy: Markets, State, and Higher Education*, Baltimore: Johns Hopkins University Press. (=成定薫／阿曾沼明裕／杉本和弘／羽田貴史／福留東土訳, 2012, 『アカデミック・キャピタリズムとニュー・エコノミー 市場, 国家, 高等教育』法政大学出版局).
- Stiglitz, J.E. & Bilmes L.J., 2008, *The Three Trillion Dollar War: The True Cost of Iraq Conflict*, New York: W.W.Norton & Company. (=楡井浩一訳, 2008, 『世界を不幸にするアメリカの戦争経済 イラク戦費 3 兆ドルの衝撃』徳間書店).

社会学ゼミであつかった文献一覧<2017 年度>

- 塩原良和／竹之下弘久編, 2010, 『社会学入門』弘文堂.
- 鈴木大裕, 2016, 『崩壊するアメリカの公教育 日本への警告』岩波書店.
- 耳塚寛明編, 2014, 『教育格差の社会学』有斐閣アルマ.

社会学演習であつかった文献一覧<2017 年度>

- 小田切徳美編, 2013, 『農山村再生に挑む 理論から実践まで』岩波書店.
- 吉川徹, 1998, 「社会的態度の形成要因 重回帰モデルによる測定」, 吉川徹, 『階層・教育と社会意識の形成 社会意識論の磁界』ミネルヴァ書房, pp.165-183.
- 吉川徹, 2014, 『現代日本の「社会の心」 計量社会意識論』有斐閣.
- 梶潟俊子, 2008, 『有機農業運動と〈提携〉のネットワーク』新曜社.
- 梶潟俊子, 2014, 「ローカルな食と農」, 梶潟俊子／谷口吉光／立川雅司編, 『食と農の社会学 生命と地域の視点から』ミネルヴァ書房, pp.169-189.
- Stoker, G., 2006, *Why Politics Matters*, Palgrave Macmillan. (=山口二郎訳, 2013, 『政治をあきらめない理由 民主主義で世の中を変えるいくつかの方法』岩波書店).